

このようなお悩みは  
ございませんか？

子どもや周囲に心配  
をかけたくないが、過度な  
見守りはちょっと…

今は元気に暮らして  
いるけど、万が一の事を  
考えると不安

簡単でそっと  
見守ってくれるものが  
あればなあ

横浜市「高齢者見守り・安否確認機器補助事業」登録サービス

# 東急セキュリティのシニア見守りサービス

横浜市からの補助により

補助対象者

- ご利用者が
- 横浜市在住
- 65歳以上
- ひとり暮らし

お客様負担額 月額 **628**円(税込)〜 基本サービス

横浜市が定める上記条件に該当する方は、**横浜市から毎月1,000円の補助**を受けられます。  
※補助対象者に該当しないお客様におかれましても定価(1,628円(税込)〜)でご利用いただけます。

**24時間**しっかり見守り。なのにかんたん！

4つの特長

- 工事不要**  
置くだけかんたん
- 日々の操作は不要**  
押すのは緊急時のみ
- 電話回線・インターネット不要**  
届いた日から利用可能
- 警備員による駆けつけ**  
追加契約サービス  
※お電話でのご依頼があった際  
ご自宅へ駆けつけ

置くだけ見まもり

SAFE-1

サービス内容は  
▼こちらから



お問い合わせ先 東急セキュリティ お客様センター

**0120-109-253**

営業時間/9:00~17:00 (年末年始を除く)

東急セキュリティ 検索

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー21階



# 青葉消防署 × 東急セキュリティ

あなたの家に**危険**は眠っていませんか？

## 急増中 リチウムイオン電池火災

## 最新対策ガイド

ハンディファン 電子たばこ デジタルカメラ ワイヤレスイヤホン 電気シェーバー

ノートPC スマートフォン モバイルバッテリー スマートウォッチ

実はこれも!?!  
身近なリチウムイオン電池製品

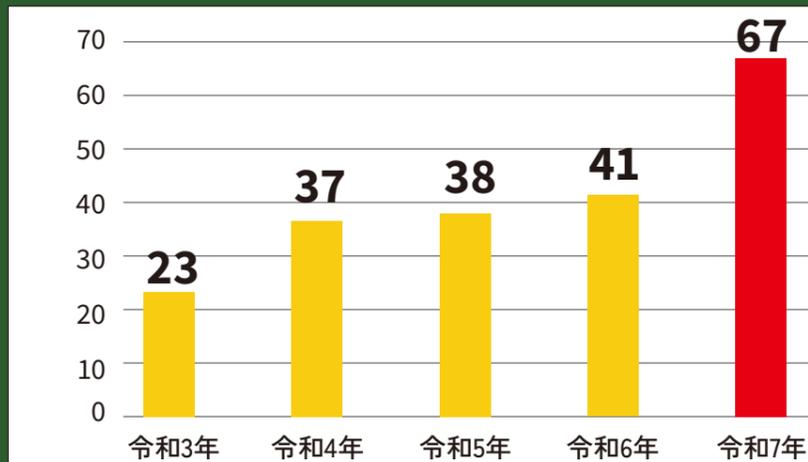
# リチウムイオン電池関連火災急増中!

令和7年、横浜市内で発生した電気火災※1のうち、  
リチウムイオン電池に起因した火災は**67件**※2でした。

前年よりも**26件**増加しており、統計を取り始めた  
令和3年以降で**最多の件数**となります。

(※1)電気火災とは、電気をエネルギーとする機器や用品、設備などが発火源となった火災です。  
(※2)火災件数は速報値のため変更される場合があります。

## リチウムイオン電池関連火災発生件数 (横浜市内)



### リチウムイオン電池

とは?  
軽量かつ繰り返し充電して使用できる電池です。モバイルバッテリーなど、身の回りのいろいろな製品に搭載され、幅広く使われています。

出典：経済産業省ウェブサイト：「リチウムイオン蓄電池搭載製品の事故に気をつけましょう! (METI/経済産業省)」\*



\*経済産業省ウェブサイト URL⇒(https://www.meti.go.jp/product\_safety/consumer/lithium\_ion\_battery.html)

## リチウムイオン電池製品による火災事例

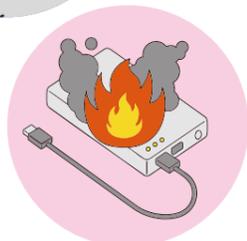
事例1

就寝中に、充電中のモバイルバッテリーから発煙した。  
調査の結果、内部の電線がショートしたことにより、発火したものと考えられる。



事例2

火災警報器の発報により室内を確認したところ、モバイルバッテリーが発煙していた。  
調査の結果、モバイルバッテリーを約1週間充電し続けたことで、過充電となり発火したものと考えられる。



出典：横浜市消防局

## 火災を起こさないためには?

### ▶安全に正しく使いましょう!

- ①製品に強い衝撃や圧力を加えないようにしましょう
- ②充電は、安全な場所で、なるべく起きているときに  
行い周囲に可燃物を置かないようにしましょう
- ③製品情報やリコール情報を確認しましょう

リコール対象製品  
についてはこちら▶  
「消費者庁リコール情報サイト」



### ▶万が一発火してしまったら?

近寄らず、火花が収まってから  
可能であれば消火器や大量の水で消火してください



出典：消費者庁ウェブサイト：「リチウムイオン電池使用製品による発火事故に注意しましょう-身に着ける、持ち歩く製品にも使用されています-」  
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\_safety/caution/caution\_083/

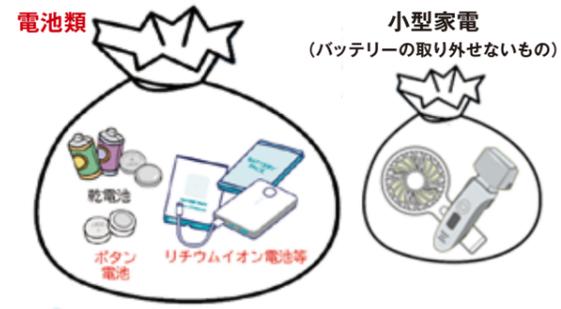
## 不要なリチウムイオン電池製品は?

近年、ごみ収集車において、**リチウムイオン電池が押しつぶされたことなどに起因する火災**が多く発生しています。  
横浜市の収集方法をしっかり確認しましょう。



出し方 ▶ 週に2回の「燃やすごみ」の日に「電池類」として一つの袋に入れてお出してください。

### 出し方のイメージ



### ⚠ 出せないものの例

膨張・破損したバッテリー | ポータブル電源  
資源循環局収集事務所に  
お持ち込みください。  
回収時間 9:00~16:00<月曜日~土曜日>  
※11:30~13:30は避けてください。

※自動車・オートバイ用のバッテリーは電池類の対象外です。  
※一番長い辺が、金属製品で30cm以上のもの、それ以外で50cm以上のものは粗大ごみです。

横浜市HP



詳しくは [横浜市 小型充電式電池 出し方](#) お問い合わせ先:横浜市資源循環局 各区収集事務所

出典：横浜市資源循環局

【お問い合わせ先】  
横浜市青葉消防署 総務・予防課 045-974-0119

簡単に防災を学べるWEBサイト



よこはま防災e-パーク

